

# きのかわ支援学校 学校運営協議会

- 1 日時 令和3年度12月16日(木) 10時00分~12時00分
- 2 場所 きのかわ支援学校 会議室
- 3 参加者 きのかわ支援学校 学校運営協議会委員8名
- 4 協議・報告の内容

## ①地域との連携および協働(地域貢献)について

きのくに和歌山総文祭に参加した本校の和太鼓部の演奏の様子を見ていただきました。演奏の様子を見て委員の皆様も感心しておられました。



## ②高等部の高野ロマルシェの取り組みの紹介

高等部主事(岡田)より、本校の高等部が今年度から取り組んでいる高野ロマルシェについての発表がありました。

高等部では、今年度から、この高野ロマルシェに取り組んでいます。地域とつながりたい、地域の方と共に体験し学び合い、そして、この高野ロマルシェが地域のイベントとして定着してほしい、そんな思いからこの会はスタートしています。



今年度は7月と11月に開催され、高等部の生徒が作った本校の作業製品や地域の方々のご厚意で提供いただいた農作物や様々な品物などを販売しました。2回とも高野口の公民館前でおこないましたが、地域の方々に多数ご参加いただき大盛況でした。

高等部主事の発表を受けて、各委員から高野ロマルシェの今後に向けて様々な立場からご助言等をいただきました。

### 【委員の方のご意見】

- ・高野ロマルシェを今後広めていくなら、近隣の団体等にも協力を依頼するのも一つの方法。
- ・地元の産業の振興、企業理解、街ぐるみで取り組めるようなものにして継続していくことが大事。
- ・ただ、何かを販売するだけでは長続きしない、目的や今後はどうつながっていくのかを考えていくことが大切。体験活動や就職につながることもあるのではないのでしょうか。
- ・地域とのつながりを形にするなら『きのかわ支援学校高野ロマルシェ(仮称)』など組織にしてみるもの一つの方法だと思います。
- ・このマルシェを通して、子どもたちが経験し、達成感や自信をえることができ、自分の得意なことなどを見いだすことにつながったりするのではないかと思います。
- ・きのかわの子どもたちの活動を通して、地域の誇りが持てる活動、学校と地域がともに良かったと思える、そんな取り組みにしていきたい。



## 5 今後に向けて

今回の学校運営協議会では、地域との連携や今後のきのかわ支援学校の取り組みについて貴重な意見をたくさんいただきました。子どもたちが自立して社会参加して行く上で、この協議会の果たす役割は大変貴重なものだと思われました。今後も委員の方々や地域とともにより良い学校作りに取り組んでいきたいと思っております。